

さがしてみよう いろいろな桜

桜の種類を紹介する文書を作ってみます。縦書きの段組み設定にして、文中に写真を埋め込んでいきます。タイトル部分も、透過性を使ったグラデーションにするなど、見栄えにこだわってみましょう。

1. 準備

①完成イメージを描いてみます。

全体を縦書き6段組みにし、上部2段をタイトル、下部4段を記事にしてみます。

イメージカラーは「青空に映える桜」をイメージして、ピンク・青と、一部に黄緑を使ってみます。



②記事に掲載する桜の種類を、決めます。

作品例では、次の5つにしました。

- ・ヤマザクラ
- ・オオシマザクラ
- ・シダレザクラ
- ・フユザクラ
- ・ヤエザクラ

③写真素材を、準備します。

タイトルに使う写真、②の各桜の写真を1枚ずつ、ネットから探してきてください。

作品例では、「写真AC」と、一部ウィキペディアの写真を拝借しました。



④原稿を、書きます。

リード文や、②の桜についての紹介文を、ワードやメモ帳で入力しておきます。入力が大変という場合は、添付の「原稿.txt」を利用してください。

Word200

2. 文書作成（本文）

① ページレイアウトを、設定します。

「ページレイアウト」タブ→「余白」「文字列の方向」「印刷の向き」「段組み」で、6段組みの縦書き文書・余白は「狭い」に設定してください。

② ページ罫線を、設定しておきます。

「デザイン」タブ→「ページ罫線」で、青い罫線でページ全体を囲みます。（「デザイン」タブがないときは、「ページレイアウト」タブ内を探してください。）

③ 使用するフォントの種類を、決めておきます。

「ホーム」タブ→「スタイル」グループの、「標準」を右クリック→「変更」で、使用するフォントの種類やサイズを決めておきましょう。見出し部分（各桜の名前）用に、「見出し1」も同様に設定しておきます。

作品例では、次のように設定しました。

- ・標準＝教科書体 11pt
- ・見出し1＝ゴシック体 12pt 濃いピンク色
（スタイルで設定しておけば、後で自由に調整できます。）



④ 3段目から、原稿を入力します。

1段目・2段目は「ページレイアウト」タブ→「区切り」→「段区切り」。3段目に、用意した原稿をコピー→貼り付けます。

⑤ タイトル部分（各桜の名前）を選択し、「見出し1」スタイルに設定します。

⑥ 用意した各桜の写真を、記事の中に挿入します。

「書式」タブ→「文字列の折り返し」は「行内」に。

⑦ 写真の配置・大きさを調整して、本文がピッタリ埋まるように調整します。それでもうまくいかないときは、「標準」や「見出し1」のフォントサイズ、行間設定を調整してください。



Word200

3. 文書作成 (タイトル)

①タイトル用の写真を、配置します。

タイトル用の写真を挿入し、「文字列の折り返し」は「前面」に設定します。ページ罫線内いっぱいには拡大→上部2段に収まるように、「書式」タブ→「トリミング」で上下を適当にトリミングします。

②タイトル写真を、「下に向かって消えていくように」します。

タイトル写真にちょうど重なるように、四角形を描きます。四角形の設定を、「枠線なし」「グラデーション塗りつぶし (上から下へ、白 (透明度 100%) →白 (透明度 0%))」とします。



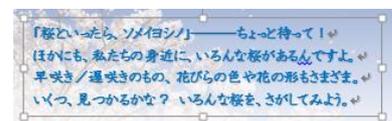
③ワードアートで、タイトル文字を入力します。

作品例では、フォントの種類は教科書体、影付き、太字、フォントの色はピンクと黄緑を混ぜてみました。



④横書きテキストボックスを挿入し、リード文を入力します。

作品例では、フォントの種類は教科書体、影付き、太字、フォントの色は青にしました。



⑤タイトル文字やリード文の配置を、工夫します。

作品例では、写真とのバランスから、右側ベースラインに揃えるようにしました。タイトル文字・リード文は均等割り付けにしてあります。



[練習問題]

作品例で取り上げた以外の桜についても、紹介文書を作ってみましょう。

さがしてみよう いろんな桜

「桜と思ったら、ソメイヨシノ」——ちょっと待って！
ほかに、私たちの身近に、いろんな桜があるんですよ。
早咲き/遅咲きのもの、花びらの色や花の形もさまざま。
いくつ、見つかるかな？ いろんな桜を、さがしてみよう。

■ヤマザクラ



大半は、葉が開くのと同時に開花しますが、開花が早いものや遅いものもあります。花は白もしくは薄紅色で、華やかさはありませんが、味わいがあります。若葉は、赤味や黄味をおびたものなど。変異が多く、ソメイヨシノのように「一斉に咲いて、一斉に散る」タイプではありません。ソメイヨシノは明治期以降に爆発的に植樹された、観賞用の桜であり、それ以前の「日本を象徴する桜」です。

■オオシマザクラ

花の色は白で、葉や花が大きく、花に独特の芳香があります。サトザクラに分類される多くの園芸品種を生み出しました。ソメイヨシノのお父さん桜でもあります。また、桜餅の葉は、オオシマザクラの若葉を塩漬けにしたものです。



■シダレザクラ

エドヒガンという桜の、その名の通り、枝が垂れるタイプのもので、花は、小輪で淡紅色。ソメイヨシノよりも、やや早く咲きます。枝の成長が早く、ちゃん

と木質化する前に伸びてしまうので、垂れ下がった形になります。

木の寿命はとも長く、大木に成長し、幹が縦に裂けたりします。



■フユザクラ



葉が小型なので、コバザクラとも呼ばれます。

この桜の特徴は、開花時期。白い中輪の花が、秋から冬にかけて咲きます。秋に咲くのは、全体の3分の1ぐらい。残りは、ふつうの桜と同じように、春に咲きます。「1本で2度おいしい」わけですね。

■ヤエザクラ

八重咲きになるサクラの総称で、桜の種名ではありません。花びらが濃いピンク色のカンザンや、薄紅色のフゲンゾウなどがあります。大半はソメイヨシノに比べて、1〜2週間ほど遅く開花します。

